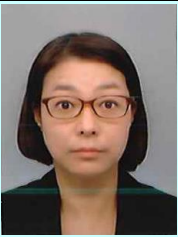


ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	<p>保育科 講師</p> <p>加山 総子 (かやま みなこ)</p> <p>KAYAMA Minako</p>
所属	保 育 科
学位	修士 (教育学) (東京学芸大学)
資格・免許	<p>中学校教諭専修免許状 (美術) (東京都教育委員会：平 31 中専第 70 号)</p> <p>高等学校教諭専修免許状 (美術) (東京都教育委員会：平 31 高専第 92 号)</p>
学歴・職歴	<p><学歴></p> <p>2000年 3月 女子美術短期大学造形学科彫塑専攻 卒業</p> <p>2005年 3月 女子美術大学芸術学部立体アート学科 卒業 (学士 (芸術))</p> <p>2019年 3月 東京学芸大学大学院教育学研究科美術教育専攻 総合美術コース修士課程 修了 (修士 (教育学))</p> <p>2023年 4月 長岡造形大学大学院造形研究科造形専攻博士 (後期) 課程 入学 (在学中)</p> <p><職歴></p> <p>2005年 4月 女子美術大学芸術学部アート・デザイン学科 教員補助 (2008年 3月まで)</p> <p>2006年 4月 女子美術大学芸術学部芸術学科 アルバイト助手 (2006年 7月まで)</p> <p>2007年 4月 女子美術大学芸術学部芸術学科 兼任講師 (2011年 3月まで)</p> <p>2011年 4月 女子美術大学芸術学部芸術学科 専任助手 (2013年 3月まで)</p> <p>2013年 4月 女子美術大学短期大学部造形学科美術コース 専任助手 (2016年 3月まで)</p> <p>2016年 4月 女子美術大学芸術学部アート・デザイン学科 兼任講師 (2019年 3月まで)</p> <p>2019年 4月 東京都中野区立みなみの小学校 図工専科教諭 (2021年 3月まで)</p> <p>2021年 4月 武蔵野大学教育学部幼児教育学科 兼任講師 (現在に至る)</p> <p>2021年 4月 駒沢女子短期大学保育科 兼任講師 (2202年 3月まで)</p> <p>2021年 10月 東京都品川区立第三日野小学校 図工専科講師 (2202年 3月まで)</p> <p>2022年 4月 山梨学院短期大学保育科 専任講師 (現在に至る)</p>

担当科目	図画工作 図画工作科教育法 図画工作科教育法特論 保育内容表現 保育内容造形表現 保育内容特論（造形表現）子どもと表現 4年一貫教育プログラム 保育実習指導 社会人基礎力実践講座 基礎演習 卒業演習	
専門分野	幼児造形 図画工作 美術教育 彫刻	
現在の研究テーマ	幼児・児童の粘土による造形活動について	
所属学会	国際美術教育学会 大学美術教育学会 美術科教育学会 アートミーツケア学会 日展 日本彫刻会	
メッセージ	子どもは描くこと・作ることが大好きです。夢中になって描いたり作ったりしている内に色々なアイデアが浮かんできて本当に楽しそうです。表現する喜びや、子どもの頃の豊かな感性を思い出しながら、楽しく活動していきましょう。	
教育		
2023年4月～2024年3月		
教育方針	子どもが「やってみたい」、「もっとこうしたい」と興味関心や探究心を持って自発的に活動するための「遊び力」と、楽しく豊かな生活を創造するための「豊かな感性」を育てることのできる保育者・教育者を育成する。	
授業	授業の工夫	造形活動の意味と役割を学生が実感を持って理解し、指導者としての視点を持って取り組めるよう工夫した。具体的には、子どもと活動するときの注意点や楽しく活動するためのポイントを伝えながら例示や机間指導を行い、疑問や質問など発言しやすい環境づくりに努めた。その結果、学生同士の活発な対話が生まれ、集団生活において安心することで子どもの心が自由に働くようになることや、子どもの表現を保育者や周囲の友人が積極的に受け止めることにより子どもの感性が「主体的・対話的」に育まれることを、経験的な学びを通して理解していた。また、造形活動に対して苦手意識を持っている学生も、子どもの立場になって活動を経験するうちに、表現は形作ることを目的とするのではなく、心を動かし、表現したい思いを主体的に実現させていく過程が大切であることを理解していた。
	授業改善のための取組	毎時間の受講レポートで学生の理解度を把握し、シラバスに示した内容を検討しながら授業を進めた。必要に応じて参考資料の提示や補助プリントの配布を行った。前年度の授業評価アンケートを見直し、到達目標の低かった項目については授業内容の見直しや教授法の改善を図る。
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年山梨学院短期大学学生チャレンジ制度採択 ・2023年山梨学院スチューデントオブザイヤー受賞 ・山梨県立美術館、愛宕山こどもの国などの学外施設において、親子造形ワークショップの企画運営を行った。 ・樹徳際では「アートであそぼう！造形マルシェ」の企画・運営を行い、年齢の異なる子どもに対応した材料や題材の選定・場や環境の設定について実践から学んだ。 ・食育推進ボランティア活動ではクレイアニメーションによる動画制作を行った。

教育（つづき）		
2023年4月～2024年3月（つづき）		
ゼミ（つづき）	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p>（卒業レポート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感触に働きかける絵の具遊びの活動について ・ 造形活動が子どもに与える影響について ・ 親子ワークショップにおける子どもと保護者の関わりについて ・ 造形活動から考える親子ワークショップの役割 ・ 絵の具遊びが育む子どもの創造性 ・ 異年齢の子どもが楽しむことのできる造形活動の展開について ・ 幼児期の感性を育てる造形活動の検討 他 <p>※テーマの選定は学生の希望を優先する。</p>
課外活動	ダンス部顧問 学友会顧問 芸能部顧問	
2023年3月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2023年4月～2024年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著書） Visual methods, a/r/tography & walking. Métodos visuales, a/r/tografía y caminar （共著）	2023年 5月12日	Tirant lo Blanch
（その他：実践報告） 保育者養成における造形表現を通じた自己探求の取り組みの考察-自己のタイムラインを探る・語る・想像するアート・ワークショップから （共著）	2024年 3月	山梨学院短期大学紀要
（その他：芸術活動） 日展	2023年11月	（公社）日展 国立新美術館
（その他：芸術活動） 山梨美術協会展	2023年 7月	山梨美術協会 山梨県立美術館
（その他：芸術活動） やまなし県民文化祭	2023年 7月	山梨県 山梨県立美術館
（その他：芸術活動） 北彫展	2023年 5月	北区文化振興財団 北とぴあ
（その他：芸術活動） 日本彫刻会展覧会	2023年 4月	（公社）日本彫刻会 東京都美術館
2023年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著書） まちと・アートと・場づくりとーこくぶんじ アートラボ・プロジェクトの実践からー （共著）	2022年 4月1日	学術研究出版
（学術論文） アート・ワークショップにおけるライブ的なものとは何か：実践者の振り返りからの考察 （共著）	2022年11月	東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第74号

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(著書) Walking with A/r/tography (Palgrave Studies in Movement across Education, the Arts and the Social Sciences) (English Edition) (共著)	2022年 3月9日	Palgrave Macmillan
(著書) 「アートがひらく保育と子ども理解ー多様な子どもの姿と表現の共有を目指してー」 (共著)	2019年 9月	東京学芸大学出版会
(学術論文) Arts-Based Research に基づく小学校での探究的ワークショップ実践の開発ー小学校5・6年生を対象とした図画工作科の関連実践としてー (共著)	2020年 11月	東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第72号
(学術論文) 子ども理解を深める親子ワークショップの実践ー学芸の森保育園での遊具を使ったワークショップ実践の考察に基づいてー (共著)	2019年 11月	東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第71号
(学術論文) 保育園と大学との連携活動による保育の質的深化の試みー保育者・大学教員・大学院生・保護者の学び愛の実践構造についてー (共著)	2019年 11月	東京学芸大学紀要 芸術・スポーツ科学系 第71号
(学術論文) 子どもの粘土による造形活動の意義ー幼児・児童との造形活動の実践からー (単著)	2019年 2月	東京学芸大学大学院 (修了研究)
(その他: 報告書) 学芸の森保育園との連携活動ー2017年度活動報告書ー (共著)	2018年 8月	東京学芸大学連携造形活動研究プロジェクト実行委員会 (笠原広一研究室)

研究 (つづき)		
2023年3月以前 (主なもの) (つづき)		
タイトル (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
(その他：報告書) 学芸の森保育園との連携活動ー2018年度活動報告書ー (共著)	2019年 3月	東京学芸大学連携造形活動研究プロジェクト実行委員会 (笠原広一研究室)
(その他：口頭発表) A/r/tographic Inquiry through Kumano Kodo Pilgrimage Trails Walking	2019年 7月	In SEA 国際美術教育学会 2019年度大会 (The University of British Columbia)
(その他：ポスター発表) テラコッタ粘土を用いた子どもの造形表現について	2018年 11月	アートミーツケア学会 2018年度大会 (女子美術大学)
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2023年4月～2024年3月		
<ul style="list-style-type: none"> ・山山山子どもプロジェクト研修会 講師 (地域連携事業) ・令和4年度やまなし HOIKU ひろば～保育士の交流の場づくり～ 講師 (山梨県社会福祉協議会内やまなし保育士・保育所支援センター) ・NPO法人 山梨・人ねっこアート展 審査員 		
2023年3月以前 (主なもの)		
<ul style="list-style-type: none"> ・日彫展 彫刻鑑賞教室「触れる彫刻鑑賞プロジェクト」 鑑賞サポート ・日展 夏休み一日 Art 体験「Oneday Art」 指導サポート ・女子美オープンカレッジセンター (女子美術大学)「アートセミナー」 講師 ・東京学芸大学公開講座 指導サポート 		
受賞 ※個人、所属団体		
<ul style="list-style-type: none"> ・日彫賞 (日彫会)「暗い海の中の根源」(2004年4月) ・日彫賞 (日彫会)「天を仰ぐ」(2011年4月) ・白日賞 (白日会)「流星」(2015年4月) ・準会員奨励賞 (白日会)「雨のち晴れ」(2017年4月) ・特選 (日展)「海からの風」(2018年10月) ・やまなし県民文化祭優秀賞 (山梨県)「冬の庭」(2022年11月) ・土屋賞 (山梨美術協会)「夏の庭」(2023年7月) ・やまなし県民文化祭優秀賞 (山梨県)「not alone」(2023年11月) 		